

神奈川県議会議員 石川ひろのり

県議会レポート 2016 はるひ野版



石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階
TEL 045-210-7620 FAX 045-210-8911

<http://www.hiro-ishikawa.jp/> 石川ひろのり



プロフィール 1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。引きこもり支援相談士。2015年県議会議員選挙初当選。麻生区在住。

平成28年度予算は過去最大の2兆137億円で成立

黒岩知事の任期2期目となる平成28年度予算は、前年比3.3%増、過去最大の一般会計2兆137億円で成立しました。当初予算は650億円の財源不足が予測されていましたが、事業見直しによる100億円と、27年度の収入増等により確保した670億円を活用し解消の目処がつかしました。

しかし、本年度も1,966億円の県債（借金）によって収支のバランスがとられており、県債残高が約3兆5,000億円あることを忘れてはなりません。

介護・医療

厳しい財政状況の下にあっても、県政が直面する諸課題、特に県民生活に深く関わる喫緊の課題に対しては、的確に、スピード感を持って対応していかなければなりません。28年度予算では、団塊の世代が後期高齢者となる2025（平成37）年に向けて、医療・介護サービスの提供体制を強化するため、約1,468億円の予算を配し、主には介護給付費負担金や障害者自立支援給付費等県費負担金の一部負担（市町村への交付）となっていますが、県として在宅医療の提供体制の充実や医療従事者の確保などを重点的に取り組むとしています。

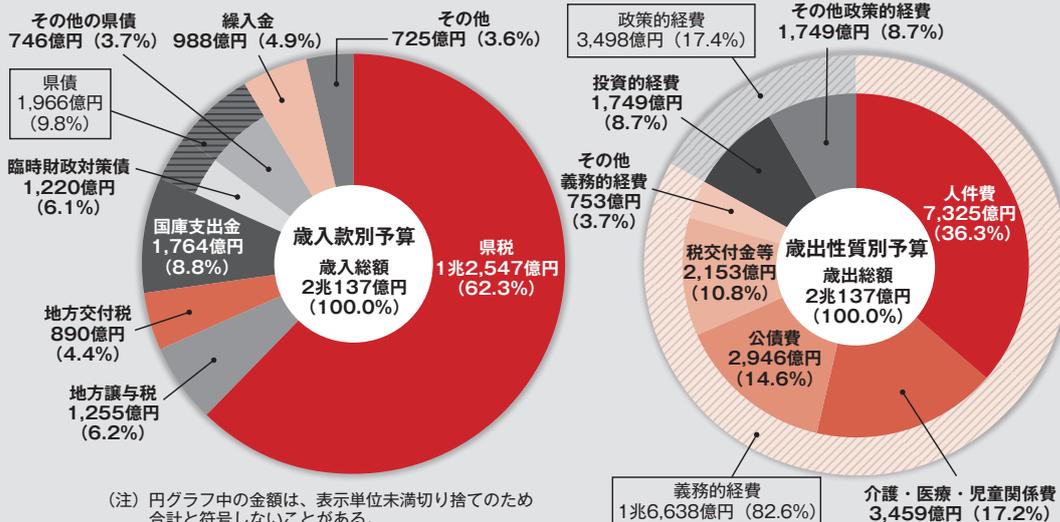
子育てを応援

28年度予算で254億円を配し、子育て世帯の多様なニーズに対応した子育て環境の充実のため、待機児童の解消や社会全体で子育てを支援する環境づくりに取り組みます。具体的には保育環境の整備、保育人材の確保・育成やニーズに応じた幼児期の教育・保育の提供、子どもの放課後などにおける育ちの場の整備、小児救急医療体制の整備・充実、就学支援の充実を行う予定です。県としても待機児童の問題を含め、環境整備を進めます。

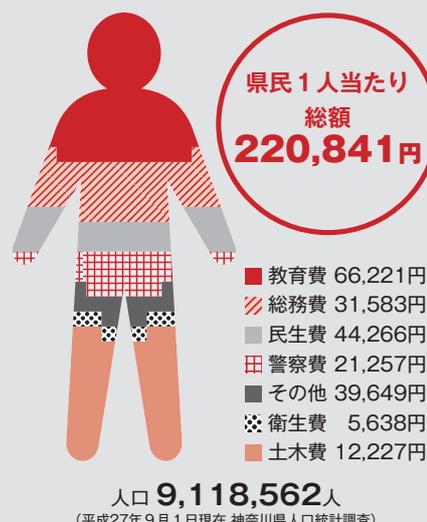
安心・安全な街づくり

1,021億円の予算を配し、地域防犯力の強化や、犯罪被害者等への支援、県民と一体となった交通安全運動・対策などを実施することにより、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりを推進します。
特に著しく摩耗し見えにくくなっている道路標示を、3か年計画で重点的に補修し、特に横断歩道については2か年で集中的に実施するとしています。老朽化した交通信号機、道路標識についても更新を行います。

平成28年度一般会計当初予算案

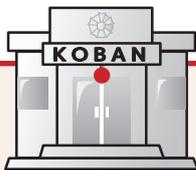


平成28年度当初予算の用途の状況



(注) 円グラフ中の金額は、表示単位未満切り捨てのため合計と符号しないことがある。

地域ご要望報告



はるひ野交番設置要望について

はるひ野町内会よりご要望を頂いております「はるひ野駅前交番の早期設置」について、昨年黒岩知事に要望をいたしました。今回、県より回答がありましたのでご報告いたします。

回答 交番の設置については、限られた予算及び人員で交番としての機能を最大限に発揮するために、スクラップ・アンド・ビルド※を原則として、要望地区における犯罪及び交通事故の発生状況、行政区・面積・人口の実態、都市の形態、道路・鉄道の整備状況のほか、警察署、隣接交番・駐在所との位置関係、交番用地の確保状況、配置に必要な警察官の確保等を総合的に勘案しながら検討しております。

はるひ野駅前地区は、約2kmと近接した地区内に麻生警察署「栗平駅前交番」があり、現在の交番の配置状況を踏まえ、前期事項を検討しますと、現時点での交番設置は困難であります。今後も同地区の開発状況及び治安情勢の推移等を観ながら、交番等の適正な設置に努めてまいります。

現在、神奈川県警察官の定員は15,583名（平成27年4月10日現在）とされています。これは、警視庁43,343名、大阪21,338名に次ぐ定員となっていますが、県民912万を抱える神奈川県として、現場の状況に即しておりません。県内では、多くの交番設置要望がありますが、回答にもあるように、交番用地を確保したとしても警察官が足りないために要望に応えられない状況もあるとのこと。今後も、交番設置について粘り強く要望をして参ります。

※工場設備や行政機構などで、非率率的な設備や組織を廃棄して、新しい能率的なものに立て直すこと。

はるひ野駅前スーパークリシマ下の交差点内にある下水溝ふたの目詰まりについて

昨年のはるひ野駅前スーパークリシマ下の交差点内にある下水溝ふたが目詰まりをしており、雨の日など交差点内に、水がたまり困っている。小中学校の通学路でもあり、早急な対応をお願いしたいとのご要望を町内会の方より伺いました。すぐに、担当部署へ現状の確認をお願いし、雨水ますのふたを変更することにより対応をいたしました。

普段の何気ないお困りごとなど、ご意見、ご要望をお聞かせください。



一般質問に登壇

平成28年2月23日



「病児保育」充実に意欲

県、実施状況や課題調査へ

急な発熱などで保育所で集団保育を利用できない子どもを一時的に預かる「病児保育」の充実に向け、

県によると、病児保育は病気がなった時だけ利用されることなどから稼働率が低く、県内の実施は2014年度現在で14市(7カ所)にとどまる。利用児童数は延べ約2万5千人だった。黒岩知事は「こうした現状について、33市町村のうち14市しか実施しておらず、十分進んでいるとはいえない」と答弁。政府が19年度には150万人分まで受け皿拡大を目指していることも挙げて「今後、市町村の取り組みを促進していかないといけない」とし、病児保育を実施していない市町村の参考となるような調査を行う考えを表明。「結果

に依り、取り組みを検討する」と述べた。同日開かれた県議会本会議で、民主党・かながわクラブの石川裕憲氏(川崎市麻生区)、自民党の守屋輝彦氏(小田原市)の一般質問に答えた。(山本 昭子)

民主党・かながわクラブ 石川裕憲の質問に答える

平成28年2月24日 神奈川新聞掲載

横浜市営地下鉄3号線及び小田急多摩線の延伸について

石川 平成12年の運輸政策審議会答申において「平成27年までに開業することが適当と位置づけられた路線」のうち、横浜市営地下鉄3号線延伸は、いまだに着工すらされていない。一方、小田急多摩線延伸は「今後整備について検討すべき路線」とされたが、地元市等が平成39年までの実現を目指すとしている。今後、橋本駅付近にリニア中央新幹線の駅が開業する予定もあり、横浜市営地下鉄3号線延伸、小田急多摩線延伸は、ともに県の広域交通ネットワークとして鉄道事業計画の中心になる事業であると考えている。

知事 横浜市北部や川崎市内陸部の利便性の向上が期待できる。「横浜市営地下鉄3号線」延伸については横浜市と川崎市で協議を重ねている。横浜市はルートの調査などを進めており、川崎市はこれに協力するとともに、今後駅周辺の活性化に向けた調査などを進める予定と聞いている。県としては両市が連携し、実現に向けた検討がさらに深められると認識している。延伸を実現させるために、国の次期答申に盛り込まれるよう横浜市、川崎市の意見を聞いたうえで、さらに国に要望をしていく。多摩線延伸については、相模原補給処の返還など、延伸の環境は整いつつある。地下鉄3号線延伸と同様、国の時期答申に引き続き盛り込まれるよう国に働きかけ、相模原市と連携し、計画のレベルアップが図れるよう取り組んでいく。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。

▶県議会レポート毎月発行！詳しくは事務所までお問い合わせください。



ボランティアスタッフ募集 石川ひろのり事務所では 随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説の支援など短時間でもかまいません。皆様のできる範囲でお手伝いください。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

石川ひろのりの活動へのご支援(個人献金)のお願い 石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへのご意見・ご質問を待ちしております。	ご意見など	お名前	TEL
		ご住所	